

平成 15 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 ほくぎんフィナンシャルグループ  
代表者名 取締役社長 高木 繁雄  
(コード番号 8377 東証・大証一部)  
問合せ先 経営企画管理部長 松本 雅登  
( T E L (076) 423 - 7331 )

#### 経営統合の時期および持株会社の商号について

当社子会社である株式会社北陸銀行（頭取 高木 繁雄）と、株式会社北海道銀行（頭取 堰八 義博）は、本日、統合の時期および統合後の持株会社の商号を両行取締役会、統合準備委員会において別紙の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

以 上

平成15年9月26日

各 位

株式会社北陸銀行  
株式会社北海道銀行

### 経営統合の時期および持株会社の商号について

株式会社北陸銀行（頭取 高木 繁雄）と株式会社北海道銀行（頭取 堰八 義博）は平成16年度中に持株会社方式による経営統合に基本合意し、これに向けて準備を進めておりますが、本日、統合の時期および統合後の持株会社の商号を両行取締役会、統合準備委員会において下記の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 統合の時期

平成16年9月

#### 2. 統合後の持株会社の商号

ほくほくフィナンシャルグループ

#### 3. 統合形態

株式交換方式

北陸銀行が本日設立した「ほくぎんフィナンシャルグループ」の名称等を全面的にリニューアルして、両行が対等の立場で新持株会社のもとに参画するものであります。

今回決定いたしました統合時期は、事務上のスケジュール等を考慮したうえで、できるだけ早い時期を選択したものであり、統合に向けて速やかにかつ着実に準備を進めてまいり所存であります。

また、商号につきましては、両行内で公募を実施したところ、合計約650件の名称が寄せられました。そのなかで「ほくほく」は、北海道銀行 野呂 夏希さんほか140名の職員のアイデアによるものであります。この商号は、両行の頭文字「北」（ホク）を活かしつつ、暖かみがあり、かつ親しみやすさを表現したものでございます。

今後は、平成16年9月の統合に向け、両行で策定した「工程表」（別紙参照）に基づき作業を進めるとともに、統合を待たずに前倒しで実施できる事項（ビジネスマッチング・セミナー等の共同実施、事務インフラの共同化等）につきましても、年度内に順次方針を決定し、鋭意準備してまいります。

以 上

経営統合 工程表（要約）

	15/上						15/下																	
	03/08			03/09			03/10			03/11			03/12			04/01			04/02			04/03		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
企画WG	持株会社設立の主要事項																							
	1 統合時期																							
	2 持株会社形態（スキーム）																							
	3 持株会社の商号																							
	4 持株会社の定款、資本金																							
	5 統合比率算定																							
	6 株式交換（等）手続きの詳細																							
	持株会社の経営体制																							
	1 持株会社の機能・組織・要員																							
	2 グループ経営管理手法																							
	3 持株会社の意思決定機関（総会、取締役会）の運営方法																							
	4 持株会社の経営健全化計画策定																							
5 子会社・孫会社の整理（統合後に検討）																								
その他持株会社に関する検討事項																								
1 持株会社の諸制度策定等																								
業務WG	店舗・ATM展開																							
	1 プロバーATMの活用																							
	2 コンビニATMサービスの展開																							
	3 店舗展開																							
	営業体制																							
	1 ビジネスマッチング・共同商品の開発等																							
	2 情報連絡体制の整備																							
	国際業務																							
	1 海外セミナー等の共同開催																							
	2 国際業務インフラの共同活用等																							
	企業再生																							
	1 コンサルティング業務の共同実施																							
2 再生支援ノウハウのレベルアップ																								
3 サービサーの活用																								
事務・総務WG	事務関連																							
	1 メール便の共同化																							
	2 手形交換業務の相互委託																							
	3 支店の現金繰りの相互委託																							
	4 取引先の現金回り業務の委託																							
	5 道内事務集中部門の一体化																							
	人事関連																							
	1 スタッフ要員の相互紹介																							
2 研修関連																								
3 福利厚生施設の共同利用																								